

地域間の交流と地域の活性化のためロングスティの推進を

四国経済連合会参与（四国地方整備局長） 祢屋 誠



四国に暮らし始めて8カ月余りが過ぎます。これまでも会う人ごとに「四国は暮らしやすい」と言ってきましたが、ますますその思いを強くしています。

瀬戸内海の穏やかな海，浮かぶ島々，太平洋側の明るさ，緑濃い山々，温暖な気候，お遍路に代表される歴史，文化，おもてなしの精神が感じられる温かい人々。

東京からこちらに赴任してホッとしたのは，岡山生まれの私の脳にすり込まれている，強い太陽光線を受けた植物の深い緑，関東ロームの真っ黒な土に比べ明るい大地の色のためかもしれません。

それに食べ物が新鮮でおいしい。こちらに住み始めて初めてスーパーに行ったとき，魚が新鮮で安価なのに驚きました。また，野菜も果物も種類が豊富で味も大変おいしい。

うどんも食べるほど好きになり，しばらく食べていないと無性に食べたくなります。

また，休日には瀬戸内海の島々，四国中央部の山地など異次元の素晴らしい景観の地に手軽に行けますし，1時間以内のゴルフ場もいっぱいあり，こんな贅沢な所はないのではと思います。

このような四国の良さを多くの人に味わって

いただきたいと思います。四国の素晴らしさは旅行で数日過ごただけでは充分味わえず，住んで初めて分かります。まさにうどんの味だと思います。

海外のロングスティが流行りました。ハワイ，オーストラリア，東南アジア，スペインなどで，まとまった期間生活を楽しむ人がおられます。しかし言葉や文化の違い，医療等の不安，為替の変動など二の足を踏んでいる人も多いのではないのでしょうか。

国内でも四国など魅力あふれる生活を提供できる地域でロングスティをもっと進めてはどうでしょうか。空き家になっている民家等をリホームし需要を見ながら少しずつ増やして行けばいいのではと思います。

瀬戸内海の島々や中山間地域も魅力的だと思います。

年金生活者にはその範囲で生活がまかなえるよう住居，食材等の提供をしていただければ最高です。

四国のファンを多く作り，交流人口が増加すれば地域の活性化にも繋がります。また，ふるさと納税等の協力を求めれば全体で黒字になるのではないかと思います。

（祢屋局長は，7月4日付で退職されました。）